

東京ヤクルトスワローズが松山で秋季キャンプ

野球教室や小学校訪問で子どもたちと交流

11月7~21日



恒例となった東京ヤクルトスワローズの秋季キャンプが、11月7日から21日まで、坊っちゃんスタジアムを拠点に実施されました。期間中は、少年野球教室や病院慰問なども行われ、選手の皆さんと多くの市民ファンが交流し、絆を深めました。

風張投手と50m競走(久枝小訪問)



野志市長による陣中見舞い(11月9日)



済美高出身・鶴久森選手による指導(野球教室)



西浦選手と給食交流(久枝小訪問)

9日、野志市長が陣中見舞いを行い、真中監督に伊予牛30キが贈呈されました。真中監督は「来季に向けてしっかり鍛えなおしたい。チームが不振の中でも県人選手はよく頑張っている」と期待している」と述べました。

12日に行われた少年野球教室には市内の小学生171人が参加。子どもたちは打撃や投球・捕球のコツなどを教わり早速実践していました。選手による打撃披露では川端選手らにホームランが飛び出すと子どもたちは大興奮していました。

14日には選手が病院を慰問。松山赤十字病院小児病棟を慰問した帝京第五高出身の平井投手は子どもたちに「早く元氣になってね」と声を掛けたり、ユニフォームにサインをして渡すなど交流を深めていました。

16日は選手が市内の小学校5校を訪問。久枝小を訪

主な内容

- 特集 市政この1年 6・7面
- 「つばき」に親しむ イベント開催 3面
- “いい、暮らし。まつやま”をプロモーション 2面
- 年未年始の主な施設の閉庁・休館 4面
- 市民ガイド 5・8~11面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日
☎948-6705 FAX934-2578
HPhttp://www.city.matsuyama.ehime.jp/



柳井 大翔さん
(城北Jr.ベースボールクラブ 5年)

次の大会でいい投球がしたい

投球練習で左手の使い方などを丁寧に教えてくれたので、自分の悪いところを知ることができました。今後の練習で教えてもらったことを活かして、次の大会でもっといい投球ができるようにしたいです。



清水 彩葉さん
(久枝小3年)

生で見る選手はすごい

選手と一緒に50m競走をしたとき、とても速くてびっくりしました。生で見る選手はすごかったです。給食も一緒に食べられて楽しかったです。これからも応援したいと思います。